

小5

◆江戸時代（2）◆

下巻11回

氏名

得点

各4点
100点

1	5代将軍(①)の時代になると江戸幕府の政治は安定した。この時期はその頃の元号をとって(②)時代とよばれる。	①	②
2	5代将軍は、犬などの動物や捨て子を保護するようたびたび命じた。この極端な命令を()という。		
3	6、7代将軍に仕えた儒学者が(①)で、その政治を(②)という。	①	②
4	5代将軍の時に幕府の収入を増やすため、()の質を落としたが、物価が上がったために、6、7代将軍には改められた。		
5	8代将軍の()は、米の値段に気を配ったことから米将軍と呼ばれた。		
6	8代将軍は御三家の紀伊藩から将軍に迎えられ、「()の改革」と言われる改革をおこなった。		
7	8代将軍は庶民の意見を聞くために(①)という投書箱を設けたり、大名に対して米を納める代わりに参勤交代をゆるめる「(②)の制」を行ったりした。	①	②
8	8代将軍は裁判を公正に行うために基準を定めたが、これを()という。		
9	8代将軍の死後、商人の経済力を利用して財政を立て直そうとしたのは老中の(①)で、彼は(②)と呼ばれる商工業者の組合を積極的に認めた。	①	②
10	1780年代には東北地方を中心に(①)の大ききんが起きた。また1783年には(②)が噴火した。	①	②
11	問9の老中の政治の後、8代将軍の孫の(①)が白河藩から老中に迎えられ、「(②)の改革」をおこなった。	①	②
12	問11の老中は幕府の学問所で(①)学以外の学問を教えることを禁止したり、ききんに備えて米を備蓄する(②)の制を命じたりした。	①	②

13	問11の老中を皮肉った狂歌を穴埋めせよ。「白河の清きに魚の住みかねてもとのにごりの(①)恋しき」「世の中に蚊ほどうるさきものはなし(②)というて夜もねられず」	①	②
14	1837年に幕府の元役人の(①)が、ききんで苦しむ人々を救おうとして、幕府の直轄地である(②)で反乱を起こした。	①	②
15	問14の乱後の1841年から、老中の(①)が「(②)の改革」をおこなった。	①	②
16	町人などの庶民の子どもに、読み・書き・そろばんなどを教えた教育機関を漢字で答えよ。		
17	中国の孔子が始めた教えを儒学というが、その中でも幕府が重視した、身分の上下を重んじる学問を()という。		
18	岡山藩では、武士を教育する藩校とは別に、庶民のために設立した学校は()である。		
19	日本人本来のものの考え方を明らかにしようとする学問を(①)という。伊勢松阪の医者であった(②)は「古事記伝」を著してこの学問を大成した。	①	②
20	ヨーロッパの学問を研究する学問を(①)という。ドイツ人の(②)は長崎に鳴滝塾をつくり医学を広めた。	①	②
21	19世紀前半に、緒方洪庵が大坂で開いた塾で、西洋の学問を教えた塾を()という。福沢諭吉などの有能な人材を生み出した。		
22	もともとは佐原(千葉県)の商人だったが、50歳を過ぎてから幕府の命で全国を測量し、正確な日本地図を作った人物は()である。		
23	ききんの時などには、百姓たちが年貢を軽くすることなどを求めて()をおこすことがあった。		
24	一揆の参加者が幕府や藩に出す署名を、「からかさ連判状」という円形の署名にしたのはなぜか。		
25	都市で、米の買い占めなどを行った商人の家などを貧しい人々がおそうことを()という。		

小5

◆江戸時代（2）◆

下巻11回

氏名

満点 とれ太

得点

各4点
100点

1	5代将軍（①）の時代になると江戸幕府の政治は安定した。この時期はその頃の元号をとって（②）時代とよばれる。	①徳川綱吉	②元禄 <small>げんろく</small>
2	5代将軍は、犬などの動物や捨て子を保護するようたびたび命じた。この極端な命令を（ ）という。	しょうるいあわれ 生類 憐みの令	
3	6、7代将軍に仕えた儒学者が（①）で、その政治を（②）という。	①新井白石	②正徳の治 <small>しょうとく ち</small>
4	5代将軍の時に幕府の収入を増やすため、（ ）の質を落としたが、物価が上がったために、6、7代将軍には改められた。	かへい 貨幣	
5	8代将軍の（ ）は、米の値段に気を配ったことから米将軍と呼ばれた。	徳川吉宗	
6	8代将軍は御三家の紀伊藩から将軍に迎えられ、「（ ）の改革」と言われる改革をおこなった。	きょうほう 享保	
7	8代将軍は庶民の意見を聞くために（①）という投書箱を設けたり、大名に対して米を納める代わりに参勤交代をゆるめる「（②）の制」を行ったりした。	①目安箱	②上米 <small>あげまい</small>
8	8代将軍は裁判を公正に行うために基準を定めたが、これを（ ）という。	く じ か た お さ だ め が き 公事方御定書	
9	8代将軍の死後、商人の経済力を利用して財政を立て直そうとしたのは老中の（①）で、彼は（②）と呼ばれる商工業者の組合を積極的に認めた。	①田沼意次 <small>たぬまおきつぐ</small>	②株仲間
10	1780年代には東北地方を中心に（①）の大ききんが起きた。また1783年には（②）が噴火した。	①天明	②浅間山
11	問9の老中の政治の後、8代将軍の孫の（①）が白河藩から老中に迎えられ、「（②）の改革」をおこなった。	①松平定信	②寛政 <small>かんせい</small>
12	問11の老中は幕府の学問所で（①）学以外の学問を教えることを禁止したり、ききんに備えて米を備蓄する（②）の制を命じたりした。	①朱子 <small>しゅし</small>	②囲米 <small>かこいまい</small>

13	問11の老中を皮肉った狂歌を穴埋めせよ。「白河の清きに魚の住みかねてもとのにごりの (①) 恋しき」「世の中に蚊ほどうるさきものはなし(②)というて夜もねられず」	①田沼	②文武 <small>ぶんぶ</small>
14	1837年に幕府の元役人の(①)が、ききんで苦しむ人々を救おうとして、幕府の直轄地である(②)で反乱を起こした。	①大塩平八郎	②大阪
15	問14の乱後の1841年から、老中の(①)が「(②)の改革」をおこなった。	①水野忠邦 <small>みずのただくに</small>	②天保 <small>てんぼう</small>
16	町人などの庶民の子どもに、読み・書き・そろばんなどを教えた教育機関を漢字で答えよ。	寺子屋	
17	中国の孔子が始めた教えを儒学というが、その中でも幕府が重視した、身分の上下を重んじる学問を()という。	朱子学 <small>しゅしがく</small>	
18	岡山藩では、武士を教育する藩校とは別に、庶民のために設立した学校は()である。	閑谷学校 <small>しずたに</small>	
19	日本人本来のものの考え方を明らかにしようとする学問を(①)という。伊勢松阪の医者であった(②)は「古事記伝」を著してこの学問を大成した。	①国学	②本居宣長 <small>もとおりのりなが</small>
20	ヨーロッパの学問を研究する学問を(①)という。ドイツ人の(②)は長崎に鳴滝塾をつくり医学を広めた。	①蘭学 <small>らんがく</small>	②シーボルト
21	19世紀前半に、緒方洪庵が大阪で開いた塾で、西洋の学問を教えた塾を()という。福沢諭吉などの有能な人材を生み出した。	適塾 <small>てきじゆく</small>	
22	もともとは佐原(千葉県)の商人だったが、50歳を過ぎてから幕府の命で全国を測量し、正確な日本地図を作った人物は()である。	伊能忠敬 <small>いのうただたか</small>	
23	ききんの時などには、百姓たちが年貢を軽くすることなどを求めて()をおこすことがあった。	百姓一揆 <small>ひやくしょういっき</small>	
24	一揆の参加者が幕府や藩に出す署名を、「からかさ連判状」という円形の署名にしたのはなぜか。	一揆の指導者をわからなくするため。 (参加者がみな対等であることを示すため)	
25	都市で、米の買い占めなどを行った商人の家などを貧しい人々がおそうことを()という。	打ちこわし	